



新型コロナウイルスの感染は世界に広がり、日本でも先ず東京、神奈川などに緊急事態宣言が出され、全国に拡大されました。3月からの臨時休業は今も続いています。

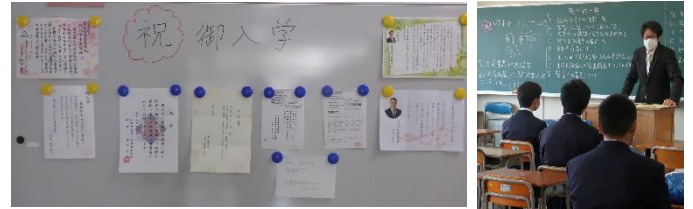
始業式に始まり、対面式や歓迎会、部活動紹介や活動体験、校外学習などで賑わう4月ですが、今年は事情が一変。入学式以外の行事を中止し、部活動も行っていない。

そんな中、生徒の不安や心配に応えようと、分散登校で安全に配慮し、健康状態の確認や必要な連絡を行いました。ホームページには課題を掲載し、学習の指針を示しました。

1日も早く学校が再開でき、生徒が地域の中で生き生きと学校生活を送れるよう、職員一同、努力を続けています。

期待が上回ります。楽しみにしている単位制の授業、部活動、学校行事にまじめに取り組みたい。当たり前のことを当たり前に行える人間になることを目標にしたい。」

式後、新入生は初めての校歌を聞き、1年次担任団が紹介されました。最後はBGMに送られての退場となりました。



## ◆4月7日(火) 第11回入学式



新入生は式場の体育館に直接入り、十分間隔を空けて並べた椅子に順次着席しました。保護者、来賓の参加はご遠慮いただき、式後のPTA関係の行事は中止、在校生の登校は一切禁止にするなど例年とは内容を大幅に変更しての開催となりました。

8名の担任が新入生全員を呼名した後、278名の入学を許可した柏木校長は新入生にこう語りました。

「中学の卒業式もこの入学式も保護者の方々の出席がなく、寂しい思いをしているでしょう。まだしばらくは臨時休校が続き、本来の学校生活ができない状態です。学校再開後はぜひとも高校生活を充実させて、保護者の方々に安心させてください。最近、想定外の出来事が多発しています。これからの人生でもきっと想定外に出会うはず。これに打ち勝てるよう、高校でしっかり学んでほしい。」



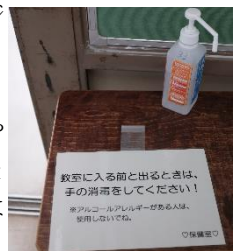
続く新入生代表のことばで、佐藤憲吾さんは今後の抱負などについて堂々と話しました。



「学校が休校になるなど、生活環境が大きく変化し、日常の大切さを改めて実感しています。大変な時だからこそ、前向きに進みたい。これからの学校生活に不安もあるが、

## ◆4月9日(木) 2年次生、3年次生の分散登校

3月25日以来の登校で、ホームページで事前に連絡した通り、年次、クラス、出席番号で時間をずらして登校しました。担任から健康状態の確認と課題の指示や今後の予定について連絡があり、その後教科書を購入しました。2、3年次生は今月これが唯一の登校となりました。



## ◆4月13日(月) 1年次生分散登校

各クラスとも2回に分けて登校し、健康状態の確認や課題の指示、今後の予定の連絡を受け、選択科目の教科書を購入しました。スマートフォンなどを利用した学習ツール、G Suite for Education への登録についての説明も受けました。

## ◆4月13日(月) 緊急研修会「Google Classroom の活用」



新年度が始まって臨時休校が続き、生徒の健康確認や学習課題への支援をどう行おうかが大きな問題になっています。昨年からの生徒に登録を進めてきたG Suite for Education、特にそのアプリの一つ、Google Classroom の活用がその解決になりそうということで、研究推進グループの岡教諭が講師となり、緊急の職員研修会を開きました。

## ◆生物部の生き物たちは元気です

静かなグラウンドを眺めるたび、部活動が中止されて生徒たちはさぞかし不自由な思いしていることと想像します。



ところで、生物部は昆虫、淡水魚、海水魚など20種以上の生物を飼っています。魚の餌やりやカメの散歩など、部員に代わって面倒を見ているのは顧問の藤井教諭です。今月は

アカハライモリの卵も孵化しました。生き物たちはみな元気です。生物部員は安心してください。(右はアカハライモリ、左はその幼生。4月30日生物室にて。)



文責・副校長 川上